

令和7年度横浜市市民プラザ指定管理者選定評価委員会 会議録

- 1 日 時 令和7年10月29日（水）13時30分から15時21分まで
- 2 場 所 横浜市役所 18階会議室（さくら14）
- 3 出席者 伊藤 裕夫 委員、大野 幸子 委員、佐々木 岳 委員、関谷 裕子 委員
- 4 欠席者 無し
- 5 傍聴者 無し

6 議事内容

議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員長の選出</li> <li>2 定足数の確認について</li> <li>3 委員会の公開・非公開について</li> <li>4 令和6年度業務評価</li> </ol>
議事・委員意見等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員長の選出 委員の互選により、大野委員を委員長に選出した。</li> <li>2 定足数の確認 委員数4名のうち4名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。</li> <li>3 本委員会の公開・非公開について 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条及び横浜市市民プラザ指定管理者選定評価委員会運営要綱第9条に基づき、公開とした。</li> <li>4 審議事項「令和6年度業務評価」             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 評価関係資料について                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 評価資料及び評価方法の確認 事務局から、評価に使用する資料、評価方法について説明があった。</li> <li>イ 指定管理者業務実績及び自己評価について 指定管理者から、令和6年度の業務報告及び自己評価についての説明があった。</li> <li>ウ 行政評価について 行政評価シートに基づき、事務局から行政評価について、要点の説明があった。</li> </ol> </li> <li>(2) 指定管理者へのヒアリング、評価・改善点の説明 委員から指定管理者に対する質疑及び評価内容（評価する点、更なる取組を期待する点）の説明を行った。</li> </ol> </li> </ol>

《主な意見及び質疑応答》

(以下「・」は委員、「⇒」は指定管理者)

ア 「使命1：文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる」について

【質疑：岩間市民プラザ】

- ・岩間市民プラザでは、ターゲットに合わせた広報手段に取り組んでいるとあるが、具体的に教えてほしい。
- ⇒毎月の「広報よこはま」保土ヶ谷区版、「ヨコハマ・アートナビ」のほか、「サイレントシネマ」という事業では出演者のナレーションによるtvkのテレビCMを実施した。他にも小学生向けのワークショップについては校長会での広報依頼、「岩間でシネマ」という映画の事業では映画館に対してチラシ配布依頼など各種事業に合った広報をしている。紙のチラシのニーズもまだ高い状況にあるため、毎月の催物案内をA4のペーパーで作成している。紙のチラシも継続しながら、新たな広報、周知に向けて取り組みたい。
- ・公立学校では紙チラシを配布するのを制限しているという話を聞くが、横浜市の学校では今までどおり受け入れてくれているのか。
- ⇒横浜市の学校では校長会でのデータ提供という形になっている。ただ、配信する、しないの決定権は学校側にあるので、そのまま流されてしまう、あるいは保護者も見飛ばしてしまうという現実はあるようだ。そのような中で、学校のみならず、町内会で子どもの集まる場や図書館といった子どもが来そうな場所にチラシの配架を依頼するということに重点を置いて実施している。
- ・令和6年度の総来場者数が前年度と比較して大幅に減少にしているが、原因の分析はどのように考えているのか。
- ⇒様々要因が考えられるが、1つ目として、当初予定していた自主事業が、出演者の体調不良等により急遽中止になったものが3つほどあった。2つ目として、長年利用している団体の人数が減ってしまい活動できなくなってしまった。3つ目として、スタジオは防音設備が整っているが、レクチャールームやギャラリーは防音設備がないため、音制限を設けた。これによって管楽器は利用を遠慮してもらったところもあり、利用が減少している。

【評価する点：吉野町市民プラザ】

- ・総来場者数が大きく増えており、8年度目標値を達成している。良いことである反面、達成指標自体を見直すことも考えてもよいかもしれない。
- ・「来て見て市民プラザ」、「ピアノプラン：朝からグランドピアノ」等の企画事業が意欲的な取組である。
- ・階段の壁面を利用した「わたしのギャラリー」といった形で、貸館ではない部分をうまく活用しており、新しい事業用法を促していく非常に大切な視点であると評価する。
- ・施設紹介動画やアクセス案内の取組が功を奏しており、良い取組である。
- ・「ウェルカムプラザコンサート」が好評だった反面、利用につながるような

広がりについて反省点があると自己評価しているが、よい実績になったと思うので、継続していくことで更なる広がりもみられると考える。

**【評価する点：岩間市民プラザ】**

- ・郊外部よりも都市部に近いので長年住んでいる人が多い地域かと思う。そういったターゲット層を想定しながら、市の広報誌等の有効な広報を行っている。
- ・広報、メディア活用というのが難しくなっている中で、公的機関等をうまく活用して連携して広報に取り組んでいる。

**【評価する点：市民プラザ共通】**

- ・バックヤード公開や施設紹介動画による新たな利用者層の開拓にチャレンジしている点を評価する。
- ・キャッシュレス決済のシステム自体は横浜市が導入しているが、新しいシステムの環境に対応できるように施設スタッフの教育を進めている点やスタッフの技術向上のための育成も進めている点を評価する。

**【更なる取組を期待する点：吉野町市民プラザ】**

- ・練習室等の規模の小さく使いやすい部屋が好まれているように思う。それぞれの諸室に合った使用方法をモデル化して、使用方法の提案を積極的に行って利用者にどんな使い方ができるかを知ってもらうという広報を期待したい。
- ・ギャラリーの貸館利用率が低いという課題があるが、他の文化施設も同様の声を聞く機会が多い。一方で美術関係者からはギャラリーがないという声が聞こえてくるため、どこかにすれ違いが生じていると感じている。ホール施設が中心になってくると、ギャラリー施設という認識が弱くなり、美術関係者や写真関係者の人たちが情報をキャッチできていないと推測している。そのような利用者層へ向けた広報を期待したい。
- ・吉野町市民プラザは、岩間市民プラザと比較すると単独館である性質上、新規の方が入りにくいと感じてしまうかもしれない。団体紹介の掲示板を通じて生じるコミュニケーションから利用に繋げることができればよいと感じた。
- ・特定の利用者層に偏らないように世代や関心に応じた利用提案や案内の工夫を期待したい。
- ・若年層や初めて利用する層に向けたSNSや動画等の活用について、若年層と意見交換を行い、若者の視点で提案してもらう取組を通じて発信力の強化を期待したい。

**【更なる取組を期待する点：岩間市民プラザ】**

- ・岩間市民プラザは、リハーサル室、レクチャールーム等の規模が小さな施設のほうの利用率が低いように見受けられる。理由を分析し、それに見合った対応に取り組んでほしい。
- ・施設について口頭で意見聴取をしている話があったが、口頭だとクレームに

つながりやすいため、カスタマーハラスメントを受けないようにしなくては  
いけない。対応できない意見もあると思うので、クレームにつながりそうな  
意見であれば速やかに対応を練って、できないことについての回答方法を  
職員であらかじめ共有する。このように対応することができれば受付スタッ  
フのストレス軽減に繋がるのではないかと。

- ・レクチャールーム、リハーサル室、ギャラリーの利用率が低いという課題に  
対して、各部屋の特徴や活用例を具体的に示し、案内動画を作成・公開など  
行い、利用イメージを持ってもらうことが利用促進につながると考える。初  
めて使用する人にとっては、特にギャラリーの使用方法はイメージしづらい  
部分があると思うので、展示・学び・地域交流など多目的に活用できる場と  
して再提示することを期待する。

#### **【更なる取組を期待する点：市民プラザ共通】**

- ・利用団体の高齢化や規模縮小という課題はどの施設でも抱えている問題だ  
とは思いますが、団体が活動を継続できるように支援することと同時に新規利用者  
層を掘り起こしていくという部分に期待したい。
- ・ギャラリーの利用率向上は両施設の課題だと思うが、岩間市民プラザで4つ  
の保育園の絵の展示を実施したことを参考に、近隣の保育園や幼稚園などで  
展示スペースが確保できないところに対して合同企画を働きかけたら、多く  
の人に見てもらえるとともに保護者の方へのアピールにもつながる。

#### **イ 「使命2：文化芸術活動への参加の機会を提供する」について**

##### **【質疑：吉野町市民プラザ】**

- ・事業のチラシの内容については、参加者の声等、体験の魅力を伝えるような  
ものは反映されているか。  
⇒フォーマットは決まってしまう。メインの世代的に新しい内容になっ  
てしまうと違うイベントだと勘違いしてしまう層は一定数いると思われる。  
目新しさというよりは、いつもの内容で最低限の情報になってしまっている  
部分はある。それ以外の部分はSNSで小話みたいなものを載せていきたいと  
考えているものの、職員も世代が上の人が多く、なかなか進んでいないのが  
現状である。
- ・リピーターに関しては、フォーマットが決まっていると周知効果が高いとい  
うことだが、新規の人や若者に参加してもらうためにデザイン等を情報にア  
クセスしやすいものを用意することも大事だと考えるがいかがか。  
⇒そのとおりである。チラシにQRコードは入れることは今年から始めている。  
また、リンク先の画像は少し多めにしている。
- ・アート&クラフトマーケットを視察した際に疑問に感じたが、参加者の年代  
や地元の人なのか情報があれば知りたい。  
⇒アート&クラフトマーケットは長年開催しているが、リピーターと新規出店  
の人は両方とも多くいる。年代に関しては、主婦層の人が多く、自分の趣味  
の範囲やどこかに習いに行って作品を作ったり、それを販売したりしてい  
る。客層も同様に主婦層が多い。

- ・アート&クラフトマーケットを視察した際の印象としては、仲間内で集まっており、興業という面ではプラスがある反面、新しい人が参入してくるのが気になった。
- ⇒今年も趣向を変えて、野菜販売や和スイーツ販売の店舗をつくって、新しいお客さん取り込めるような雰囲気をつくりたい。

#### 【質疑：市民プラザ共通】

- ・岩間市民プラザの日本舞踊ワークショップのように、地元の日本舞踊家という地域資源、文化資源、人的資源を発掘して、それを顕在化していく取り組みを積極的に実施していくと良い。この点についてはどうか。
- ⇒（岩間市民プラザ）令和6年度には、地域のお祭りに利用団体を紹介した事例があった。令和7年度はそのような事例がなく、新しく開拓していく必要性を感じている。
- ⇒（吉野町市民プラザ）アート&クラフトマーケットに出店し、ワークショップを行っていた人を講師として招いて夏休みのキッズアート講座を実施した実績があり、このような形で発掘していくことに力を入れたい。

#### 【評価する点：吉野町市民プラザ】

- ・業務の実績報告する際の動画について、文章で読むよりも非常にイメージが分かりやすく良かった。体験型講座やギター講座などへの参加者が本当に楽しそうにしているのが印象的だった。
- ・チラシのラックが分野別に分類されており、付箋で開催日を分かりやすくする工夫がされている点を評価する。

#### 【評価する点：岩間市民プラザ】

- ・「午前の音楽会」は楽しみにしている参加者が多く、とても良い企画を継続している点を評価する。
- ・これまでの事業の積み重ねにより、テレビ番組等で活躍されているメジャーな落語家の独演会を定期的に継続開催して多くの来場者を得ている点を評価する。

#### 【評価する点：市民プラザ共通】

- ・メディアとしてのバックボーンを持つ指定管理者として、WEB等活用をしている点を評価します。
- ・インクルーシブ事業のダンスワークショップにおいて、複数館が連携し、1つの地域にとどまることなく、広域のイベントになっていくことは良い試みである。また、別施設のやり方やノウハウを学びあうことができる1つのきっかけになっている。

#### 【更なる取組を期待する点：吉野町市民プラザ】

- ・「光のぷろむなあど」との共催について視察もしたが、外のコンサート会場は賑わっている反面、プラザ内の出店が寂しい状況になっていたため、少し工夫が必要だと感じた。例えば、時期が夏休みであれば、子どもたちが自由

研究に使えるような参加型のものにしつつ、販売もあるような一体化したプランなどの工夫を期待したい。

- ・ギターワークショップは段階的によく組まれたプログラムであると感じているが、参加者のレベルやタイミングにより、うまく参加者のニーズに応えられないという課題も抱えている。事前のレベルチェックのようなことも踏まえて参加者がより有意義に参加できる工夫を期待したい。
- ・広報のデジタル化は進んでいるが、情報を届けるということと受け取った人が参加したいと思うかについては課題が残る。収録した内容を公開するなどしていると思うが、より一層体験の魅力の部分を広報できるとよい。

#### 【更なる取組を期待する点：岩間市民プラザ】

- ・体験型事業の実施回数の指標について、令和8年度達成目標が実績より少なく設定されている。目標値は実績と同程度か少し上に設定することを期待します。
- ・若い世代の関心につながるようなテーマを設定することも大事である。若手の新しい人に参加してもらい、子育て世代になっても子どもと一緒に参加できるような取組を実施していけると良い。デジタル発信系、ウェルビーイング、多世代・地域共創などの社会の変化に合わせたテーマが必要である。また、若者は古着等の古いものに関心がある傾向がみられるため、施設と若者で何か一緒にできるような事業を考えていけるとよい。
- ・実施している参加型事業は催物に住民の方たちが参加してもらおう引込み型が多いが、アウトリーチ型にも目を向けることも期待したい。

#### 【更なる取組を期待する点：市民プラザ共通】

- ・3館連携事業は良い企画のものが多く、この実績を活かして各館の事業にも繋げられるような取組を期待したい。
- ・人気の高い事業を継続していくことは大切ではあるが、新しい層を発掘していくためには、新たなニーズに対応する新規事業を考えていくことも期待したい。

### ウ 「使命3：次世代を担う人材を育む」について

#### 【質疑：吉野町市民プラザ】

- ・「ホール探検ツアー」は、子どもたちにとって普段の場所とは異なるため、新鮮な驚きを与えることができているのではないかと。案内人は誰が行っているのか。
- ⇒案内は施設スタッフ総出で行っており、特に舞台スタッフによる詳細な説明が好評を得ている。普段は入ることのできない調整卓のある調整室で説明を受けながら実際に動かし、音を出したり、光を当てたりすることで子どもが大変喜んでいる。
- ・「U（アンダー）25プラン」がどういうものなのか教えてほしい。
- ⇒ギャラリーの使い方の1つとして、子ども世代に使ってほしいという思いがあり、子ども、学生などを含めて25歳以下が3分の1の出展者であれば半額

で利用できるという制度である。ただ、抽選が終わった後、5か月前からの募集であることから、利用者の使いたいというニーズに応えることが難しい部分がある。また、利用者の高齢化から、3分の2以上が70代以上ということも多いため、1～2団体が毎年利用している状況で推移している。

・未実施となった事業いくつかあったようだが、年度初期の段階から計画と広報を一体に進める体制づくりが望ましいと考える。実際にはどのように進めているのか。

⇒施設側の努力不足というのも否めないが、5か年の計画を立てた令和3年のときからコロナ禍を挟んで、子どものイベント実施や一緒にものづくりをする機会がなくなってしまい、また新しくスタートさせることが難しい状況だと認識している。PRしていくことも含めて、特に音楽やアートプロジェクトのような集客できるものに参画していきたいと考えている。

・それは、施設側から提案して進めていくことはできるのか。

⇒近隣の学校や子ども会みたいなものと一緒に進めていく企画については、コロナ禍で中止になってしまい、2年間中止になると再開がなかなか難しいという状況である。

・コロナ禍で中止されたイベントというものは、そのまま中止になっていることが多いと思うが、「実はやった方がよい」という思いがあるかもしれない。もし施設側から提案できるのであれば、学校側も「再開しましょう」という方向性になるかもしれないので、そのような交流の場があるのなら考えてほしい。

⇒近隣の小学校でPTAがなくなってしまい、父兄経由のルートがなくなってしまった。また、教員を放課後に稼働させたくないという学校側の思惑もあり、入り込めるところを模索している段階である。そういった意味では、野外子供映画会や近隣の子どもたちの集まりに協力する事業等を引き続き実施しながら地道に広げていきたい。

#### **【質疑：岩間市民プラザ】**

・岩間市民プラザでも卒業生がボランティアや、何か講座の補助をするような仕組みがあれば良いと感じたが、現状そのような取組はあるのか。

⇒現状としては特にはない。ただ、以前ワークショップに参加していた人やコンサートのリピーターが、時としてボランティアの支援スタッフとしてお手伝いしたケースはある。施設側も快く受け入れるようにしているが、それを育てていくような仕組みは今のところない。

・ワクワクするようなイベントが数多くあるので、そのような卒業生たちが一緒に参画するようなものがあれば、より発展的になると感じる。

⇒その可能性が一番高いのは日本舞踊ワークショップだと考えている。小学生の子どもたちが対象なので、卒業してからも顔を出してくれる子はいらる。

#### **【質疑：市民プラザ共通】**

・近隣の文化団体の状況把握に「アートネットワーク会議」という達成指標が掲げられているが、明確に決まっているものなのか、考えながら動いているものか分からない。現況はどのような形なのか。

⇒明確に決まっているものはない。公募時の提案書に「アートネットワーク会議（仮称）」と記載されていて、地域の方々と集まる場をつくり、新たなつながりから生まれる活動を支援するものとしている。会議という文言に引っ張られてしまうところがあるが、指定管理者としてはネットワークを構築するというふうに捉え、若い世代、ダンスの先生やボランティアのリーダー、若いアーティスト等とイベントを共催している。人と人をつなぐことに重きを置いて活動し、ネットワークを構築しつつある。まだ出来上がってはいないけれども、そのような人と人の輪をつなぐようなものを最終形態として、試行錯誤しながら手探りでやっている状態である。

- ・ネットワークなので人をつないでいくこともあるが、地域人材を発掘するためのアイテムとして使っていくイメージが強いということか。

⇒それも含めて考えている。

#### 【評価する点：吉野町市民プラザ】

- ・「キッズアート講座」は、夏休みの自由研究にも対応する形で実施することができている。子どもたちの関心に即しており良い取組である。
- ・「若手落語会」では、出演者と出身校をつなげ、学生たちが鑑賞することで、母校の先輩という意識にもつながり、非常に丁寧な試みだと感じる。

#### 【評価する点：岩間市民プラザ】

- ・学校や保育園と連携した事業の指標が目標値を超えており、素晴らしいことである。どのように進めることで成功したのかという点を吉野町市民プラザへ情報共有してほしい。

#### 【評価する点：市民プラザ共通】

- ・2館連携の「吉野町音楽空間」が盛況で、各館からスタッフを応援派遣し、MCもスタッフが行うなど、イベント運営を工夫している上で情報も共有している点を評価したい。

#### 【更なる取組を期待する点：吉野町市民プラザ】

- ・学校や保育園と連携した事業の指標が3年連続で目標に達していない理由を分析する必要がある。学校、保育園あるいは市民団体の活動の中に入っていくことが難しい実情がある中で、人同士の交流を進めて、ネットワークを構築していくことが重要である。公立よりも私立の学校の方が取り組みやすい等はあるかもしれないし、学童へアプローチする手も考えられるので、更なる工夫を期待したい。

#### 【更なる取組を期待する点：岩間市民プラザ】

- ・子供や親子連れをターゲットにした事業が大幅に減少している。学校経由でのアプローチが難しいのであれば、地域に密着している子ども関係の団体と連携していくことが更に必要になってくる。

#### 【更なる取組を期待する点：市民プラザ共通】

- ・定量指標において令和6年度に数字が減少してしまっているものについては、要因分析を進めてほしい。
- ・芸術文化教育プラットフォームの学校プログラムは子どもたちの環境によらず文化体験の機会となる横浜市の素晴らしい取り組みだと感じている。資料では何校担当したという数字の部分しか見えてこないで、どのような取組内容をしているか積極的にPRしていくことで地域とのつながりがより明確になっていくものだと考える。
- ・ギャラリーの使い方として、次世代を育むという視点で、来場者の子どもたちに自分が気に入った作品を選んでもらう。それは誰が1位かを決めるという意味合いではなく、子どもたちが作品の評価をしながら、自分もこんな作品を描いてみようと思うきっかけにつなげることができればよいと感じた。

#### エ 「使命4：文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける」について

##### 【質疑：市民プラザ共通】

- ・ギャラリーの展示用途に偏りが見られる。提案として、ギャラリー内でのワークショップや制作コーナー等の実施はどうか。
- ⇒ (岩間市民プラザ) ギャラリーの利用率の低さは悩みどころである。そのため、令和6年度は試験的にギャラリーのスペースを使って初心者向けのヨガの体験教室を3日間連続で実施、オープンデーでは楽器体験として、初心者向けのフルート教室を開催した。ある程度の手応えを感じているので、引き続き本来のギャラリーの使い方以外の利用の仕方も今後実施していきたい。
- ⇒ (吉野町市民プラザ) ワークショップは会議室で実施することが多い。ギャラリーに関しては、弦楽器の練習や舞台稽古で利用することもある。そのような使い方を広げていきたい。

##### 【評価する点：吉野町市民プラザ】

- ・新たにInstagramで情報発信を開始しており、様々な媒体が増えることは評価できる。
- ・「光のふるむなあと」では、参加団体のサポート役として、施設の持っているノウハウを活用し、イベント運営協力を通じて地域の人々を結び付けていることは素晴らしい。地元密着型の文化施設の場合、地元の団体の活動に対して、専門的スキルをもって支援を行い高めていくという中間支援的な活動が重要になってくるため評価したい。
- ・「吉野町ダンスカップ」で子育て世代に配慮して参加しやすい環境を準備しており、細かい心配りが感じられた。

##### 【評価する点：岩間市民プラザ】

- ・地域の自治会との協力で地域の人々との連携がうまくできている点を評価する。
- ・併設施設の偕恵いわまワークスの活動を他地域につなげていく地域のハブとしての活動を進めている。

**【評価する点：市民プラザ共通】**

- ・tvkの情報番組内で実施事業を交互に紹介しており、メディアをバックボーンにもつ指定管理者の強みが活かされている。
- ・「インクルーシブダンスワークショップ」は、それぞれの地域とのつながりを生み出していく非常に大きな活動であると評価する。

**【更なる取組を期待する点：吉野町市民プラザ】**

- ・発信を始めたインスタグラムも継続していかないと意味がないので、大変だとは思いますが継続して取り組んでいくことを期待したい。

**【更なる取組を期待する点：岩間市民プラザ】**

- ・障害者施設や国際交流団体にヒアリングを行ったということなので、その内容を事業実現に活かしていくことを期待したい。
- ・子育て世代に対するおむつ替えや授乳スペースに関するきめ細かな対応について、利用者の立場に立った対応を引き続き期待したい。
- ・地域の主催団体の状況に左右されてしまう部分はあるが、情報収集をしっかり行い、つながりを継続していき、事業広報等の関係構築を期待する。

**【更なる取組を期待する点：市民プラザ共通】**

- ・2館の運営母体と同じである利点を活かし、ノウハウを共有しマニュアル化するなど負担を軽減しながら、新しい企画も生み出していくこと期待したい。
- ・コロナ禍を経て地域団体の活動内容が変化している部分は多い。活動がなくなってしまったものが復活できるような機会があれば、それを支援することで地域内の文化的な拠点としての活動を進めていくことを期待する。
- ・3館連携のインクルーシブ事業は定着してきた印象を受ける。今度は新しい形の試みを担当者で話し合っ進めることも検討し、その際は地域の他の団体にも呼びかけて協力して一緒に作り上げていくことを期待したい。

**オ 「使命5：持続可能性を高める施設運営を行う」について**

**【質疑：吉野町市民プラザ】**

- ・修繕予算の執行率が非常に上昇しているが、何か理由があったのか。
- ⇒特別なにかあったというわけではなく、施設自体の老朽化が進んでいる状況で、様々なものが壊れてしまうので修繕金額が増加している。

**【質疑：市民プラザ共通】**

- ・予約システムの不満の意見については、市と具体的な情報共有を図り、今後の修正等を適切に対応してほしい。
- ⇒（市）現在の予約システムは令和5年の11月から稼働している。これまではオンライン決済の導入や不具合の解消がメインだったが、今年度以降は、サービスセンターで集約された利用者の意見も踏まえて運用上の課題を解決す

るためのシステム改修を行いたいと考えている。

**【評価する点：吉野町市民プラザ】**

- ・設備の買い替えにあたって利用者インタビューを活用して、利用者のニーズに対応している点を評価する。

**【更なる取組を期待する点：吉野町市民プラザ】**

- ・駐車場の監視カメラの設置については、市との協議が必要かもしれないが、安全管理上、検討を進めてほしい。
- ・災害ボランティア活動の拠点となる施設だが、長期保管用の防災備品保管場所が検討中とのことなので災害時に機能できるように事前準備を進めてほしい。

**【更なる取組を期待する点：岩間市民プラザ】**

- ・修繕件数が増加しており、設備の不具合は利用者からのクレームに繋がりやすいので、優先順位をつけて対応することを期待する。

**【更なる取組を期待する点：市民プラザ共通】**

- ・ハード面に関しては予算の問題が大きいですが、安全安心に利用してもらうためのソフト面は人的なサービスによるものなので、更なる向上に期待したい。
- ・利用者インタビューでニーズを把握することは良いが、一部のユーザーの意見に偏ってしまうことのないように配慮してほしい。
- ・誰もが利用できる施設である反面、トラブルを引き起こす利用者を排除しにくいリスクがある。何かあったとき対応できるように警察等の連携の継続に期待したい。

**カ 「その他」について**

**【質疑：岩間市民プラザ】**

- ・岩間市民プラザは、修繕件数が増えていると説明されていたが、決算額は予算額とほぼ同等であった。修繕額以外のその他保全費等に振り分けているのか。  
⇒修繕費に計上している。単価が低い修繕案件を数多く実施した。
- ・保土ケ谷区役所が実施している「花フェスタ」や東海道に関する「まちあるきイベント」について、連携して取り組んでいることはあるのか。  
⇒「花フェスタ」については、昨年度は岩間市民プラザがコーディネーターとなり、利用団体をイベントステージへ送り出した実績はある。また、「まちあるきイベント」については、区と連携する形でギャラリーにて、保土ケ谷区の歴史的建造物の写真パネル展を実施するとともに、「東海道風景街道」という団体と協力し、ホールにおいて「東海道発見シリーズ」と題した地域理解の講演会を実施している。

**【質疑：市民プラザ共通】**

・収支報告書の「地域協力費」が両館ともに予算と決算が大幅に異なっている理由はなにか。

⇒予算を組んだ際の積算内容の科目誤りを訂正したことによって差異が生じてしまった。

#### 【更なる取組を期待する点：市民プラザ共通】

・今後の利用料金収入の確保するためにも他施設の差別化し、売り込みをしていく必要がある。

・両市民プラザの指定管理者が同じであるにも関わらず、業務報告書や収支報告書の作成の仕方に随分と差がある。複数館を管理する指定管理者においては、一体的な管理が期待される。

・両館を比較すると、自主事業の収入実績は、岩間市民プラザは吉野町市民プラザの2倍になっている。一方で、岩間市民プラザは事業収入が多い反面、事業費も多く、利益率は、吉野町市民プラザが3割程度に対して岩間市民プラザは2割程度しかない。収入額が多い分、経費も連動して増えているならば、資金をもう少しプールすると経営に余裕が生まれてくると思われる。数字だけでは判別できない部分もあると思うので、その辺りをしっかりと分析し、ノウハウを共有して企画実施に活かしてほしい。

⇒岩間市民プラザの場合は、コンサート形式の鑑賞型事業の経費は出演料がほとんどを占めている。契約内容として、売り上げと連動する内容となっているため、利益率は変わらない。利益率を上げるためには契約内容を見直す必要があり、出演者に断られてしまう恐れはある。

・岩間市民プラザは決算額収支がマイナスになっており、厳しい運営である。大きくマイナスになっている光熱費と設備保全費の内容を分析し、改善を図ってほしい。

・岩間市民プラザの自主事業について予算の収入と支出が同額になっているので、予算を立てる際には、ある程度利益を見込んで組むように考えてほしい。

・両館ともに基本的に紙のアンケートを実施しているようだが、データをまとめる作業が大変なため、グーグルフォーム等を活用すると、その後の分析がしやすくなると思われる。紙でないと集まらないという事情もあるかもしれないが、QRコード等の読み込みでもアンケート可能な層に関してのアプローチ方法として検討してほしい。

#### キ 「総括」について

・両館とも長期間継続して運営しており、高い意識をもって経営していると感じる。引き続き業務に取り組んでほしい。

・特に使命3に関しては、学校プログラム等を通じた学校のつながり等を活かしながら、他事業の広報展開等を積極的に進めてほしい。

・市民プラザは横浜市内でも歴史ある文化施設であるが、他都市では公民館を文化施設に改修して移管していく動きがある。また、10年ほど前から、「文化的コモンズ」という言葉が定義され、様々な地域間の団体、教育機関、福

	<p>社機関等の連携にあたってのハブ的役割を文化施設が担っていくことを期待されている。これらの考えを含めて、市民プラザに求められるものは、公民館的な地域密着型施設の役割であると考え、文化を通じた地域社会の活性化、地域づくりへの貢献を期待したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両館ともに安定的な運営が維持されている。一方で、「次世代への継承」及び「施設の差別化」という課題について意識し、更なる発展を期待したい。</li> </ul> <p>5 まとめ</p> <p>本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて見直し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。</p>
<p>審議結果</p>	<p>審議事項「令和6年度業務評価」について、本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて清書し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。</p> <p>また、議事録については委員長確認後に確定のうえ、公表する。</p>